



山田学区の健幸かるて（令和7年度版）

【令和7年12月作成】

草津市人とくらしのサポートセンター

地区担当保健師



1.人口構成と世帯数（R7.4.30）※市と比較して区分割合が高い項目に着色

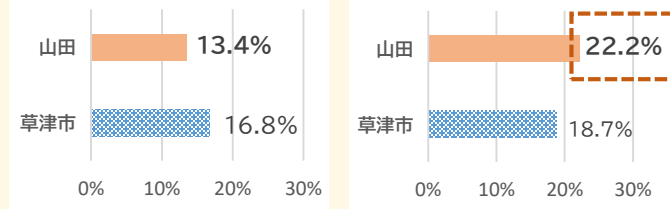
年齢区分	0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,482	17.4%	9,318	65.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渋川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

4.高齢者の状況

（※③は、40～64歳の第2号被保険者も含む）

①単身高齢者の割合（R7.4）

②介護認定率（R7.4）



③介護が必要となった原因で最も多い疾患（R1～R2新規申請者）

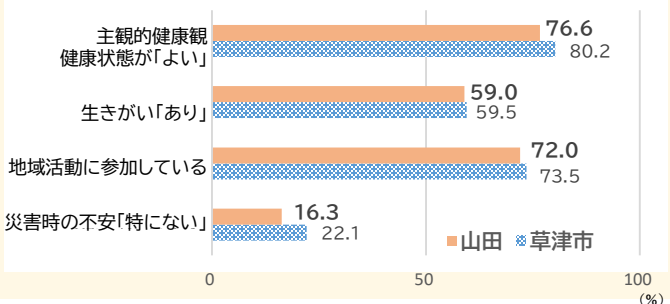
【要支援認定となった人】
膝関節症

【要介護認定となった人】
アルツハイマー型認知症



④介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（R4年度）

※対象65歳以上（要介護1～5の認定を受けていない方）

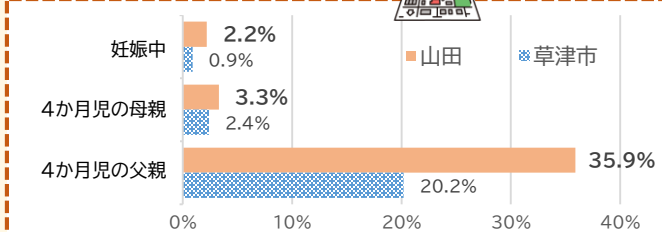


2.妊娠・出産・子育て（乳幼児健診問診結果）

①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合（R6年度）

フェイススケール		1	2	3	4	5	6
1歳6か月児	山田	43.5%	30.6%	22.6%	0.0%	3.2%	0.0%
	草津市	52.4%	30.4%	14.3%	1.4%	1.1%	0.3%
4か月児	山田	64.4%	31.1%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%
	草津市	65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%

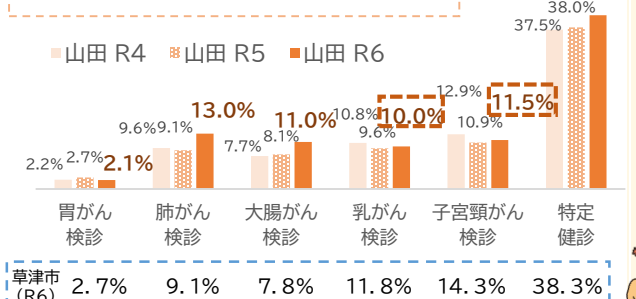
②喫煙状況（R5～6年度：4か月児健診時）



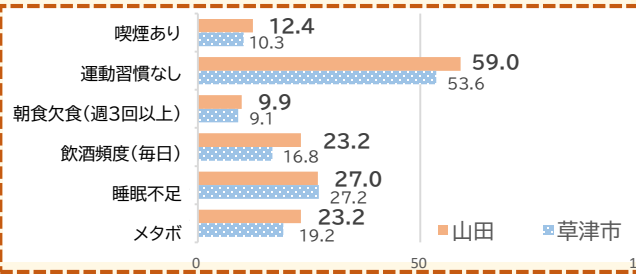
3.からだの健康・生活習慣

①市が実施しているけん診の受診率推移（R4～6年度）

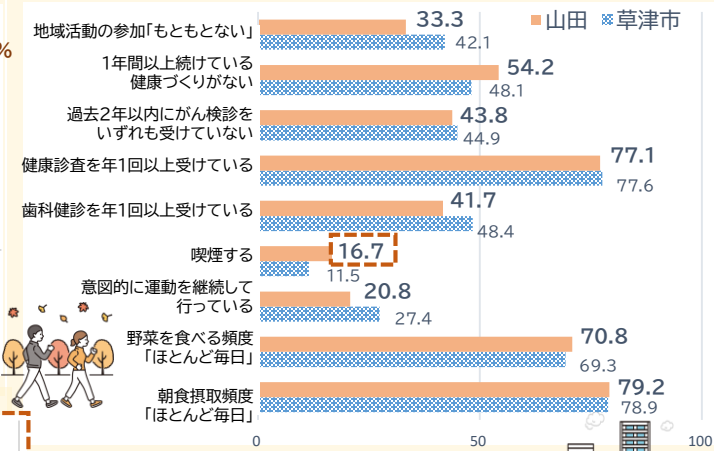
受診率については、市が実施しているがん検診および草津市国保加入者を対象とした特定健診の受診率です。



②特定健診問診・検査結果（R6年度）



③健康に関するアンケート調査結果（R4年度）※対象18～74歳



5.地域資源（地区組織活動・社会資源等）

子育てサークル・拠点施設	3か所	スーパー	1か所
地域サロン	16か所	コンビニ	0か所
医療機関	医科：1か所 歯科：2か所	ドラッグストア	1か所
薬局	1か所	町内会	14

地域の目指す姿（目標）：山田学区の住民が、自らの健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組むことができる

地域の特性と健康課題

・高齢化率は市内で2番目に高く、介護認定率は市内で最も高いです。
・乳幼児健診問診結果や健康に関するアンケート調査結果、特定健診問診結果より、喫煙している人の割合が市と比較して高いです。また、特定健診問診結果より、「運動習慣なし」「朝食欠食」「飲酒頻度（毎日）」「メタボ」の項目において市と比較して高く、けん診受診率については、特に「乳がん検診」「子宮頸がん検診」の受診率が市内でも特に低いことから、けん診の受診や自分の生活習慣を振り返る機会を通じて、自分に合った健康づくりに取り組む必要があります。

健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況

自分の健康状態に関心を持ち、生活習慣を見直す機会をもつことができるよう、新田会館や子育てサロン、JA等において、地域の関係者や企業との協働により、健康講座や健康測定会等を実施し、あらゆる世代に対する健康啓発をすすめています。